

いきいき農業高校 第21回



北海道深川東高等学校

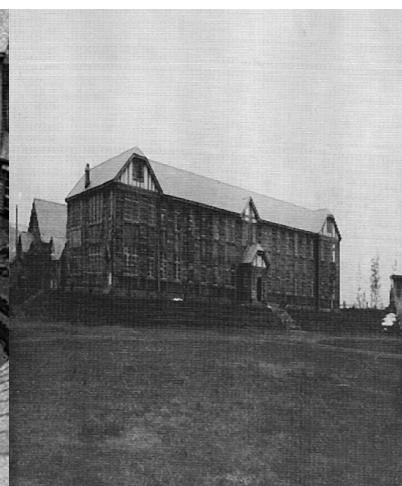
一 地域の概要

深川市は、北海道のほぼ中央に位置し、基幹産業は農業であり、石狩川と雨竜川の流域に広がる肥沃な土壌と気象条件のもと、道内有数の稻作地帯です。そこで作られるお米は、良質良食味米の主産地として高い評価を受けています。そのほかにリンゴ・サクランボなど果物も多く栽培されています。また、札幌と旭川を結ぶ交通の要衝としても大切な町です。

二 学校の概要

本校は、昭和四年に深川町立深川高等女学校として開校しました。その後、昭和二八年北海道深川東高等学校の分割により北海道深川東高等学校になり、その後、北海道深川東商業高校になりましたが、平成一七年に北海道深川農業高等学校と統合し、現在の北海道深川東高等学校

本校は、「誠実勤勉」を校訓に掲げ、校となりました。令和元年には、創立九〇周年を迎え、農業科「生産科学科」、商業科「総合ビジネス科」の二学科で教育活動を行っている高校です。



生産科学科では、農業体験を通して、勤労を尊び生命を重んずる心豊かな人間性を育んでいます。



また、総合ビジネス科は、流通や情報処理に関する分野を主として、商業の各分野について体系的・系統的に理解させ

ることで、関連する技術を身に付けさせています。

本校は、深川はもとより、近隣からも多くの生徒が通学し、地域の大学・企業などと連携、農業人材はもとより、地域で活用できる多くの人材を育てています。



二 学校教育目標

学校教育目標

- 一 広い視野の人間を養つ
- 二 創造力と実行力のある人間を養つ
- 三 勤労愛好の精神を培つ
- 四 心身の健全な人間を養つ

学校経営方針

生徒・保護者・地域の信頼と期待に応え、地域に根ざした魅力ある学校づくりの推進

スクール・ミッション

- 豊かな人間性や社会性を培い、自立した社会人、職業人となる生徒の育成
- 地域との連携・協働等を通じて、地域の課題に向き合い、解決するために必要な資質・能力を身につけた生徒の育成

四 特色ある学習内容

(1) 青空園芸教室

次世代の子供たちを高校生が、先生になり、育てています。小さい時から農業にふれさせ、ふるさと深川に愛着を持たせています。



(一) 生産物販売会

日頃の教育活動を地域の方々に見てもうまい、花壇用苗・野菜用苗の販売、地域の方々との交流を進めています。



いっした子供たちが、将来の深川東高校の生徒になり、今度は、小学生に教える生徒になっていきます。



(II) 農業クラブ活動と商業クラブ活動

一つのクラブ活動の融合。農業クラブで、原材料を作り、商業クラブで、加工・付加価値を高めていきます。農業は、生



旭川市買物公園に出店し、多くの消費者の方々と交流を深め、今後の商品開発のヒントにしています。また、流通と販売をじかに学ぶ場になっています。

(四) 食べマルシェ(旭川市)

五 おわりに

深川市で、農業自営する生徒の育成。また、農業のよき理解者を育成していく役目があります。

Society 5・0の中での活躍するため、「主体性」「リーダーシップ」「創造力」「課題設定・解決能力」「論理的思考力」「表現力」「チームワーク」などの資質・能力を備えた人材を育成するほか、個人が自立して自らの個性を伸張し、多様な価値観に基づいて、課題の解決を牽引する人材を育成していくことが



重要だと思います。今後は、産官学が協力して、小さな子供たちを育て、農業の環境を作り、多くの人が新しい農業に取り組んでいけるように、がんばっていきます。